仙台城跡・る一ぷる仙台バリアフリー調査報告書



特定非営利活動法人仙台バリアフリーツアーセンター 障害者の移動と社会参加を広げる会

調査にあたり

全国に誇る仙台の観光地仙台城跡。当センターにも全国から車いすで伊達政 宗公騎馬像の見学を望まれる方からアクセスの相談が寄せられています。

しかしながら仙台市観光路線巡回バスるーぷる仙台では仙台城跡のバス停での乗降が難しいことにより、タクシー(場合によっては介護タクシーの事前予約)での観光をご案内しておりますが、駅と城跡間の送迎料金だけでも往復数千円ほどかかるなど、1回乗車260円のるーぷると比べると金銭的負担が大きいのが現状です。

また、るーぷる沿線の観光施設へのアクセスも高齢の方や障害がある方等に とっては難しい箇所が多いという情報が寄せられており、この度当センターで は、障害者の移動と社会参加を広げる会様のご協力を得て仙台城跡およびるー ぷる仙台バス停のバリアフリー調査を実施いたしました。

今回の調査は仙台城跡の仙台市管理部分およびる一ぷる仙台のバス停から観 光施設までの導線に絞り込んだため、観光施設内の調査は行いませんでしたが、 今後改めて仙台市内の観光施設の調査を行いたいと考えております。

来年に迫った東京オリンピック・パラリンピックでは仙台にも多くの観光客が訪れることが見込まれます。この報告書が今後の仙台市のバリアフリー観光施策推進の一助になれば幸甚です。

この調査に多大なるご協力いただきました、仙台市文化観光局観光交流部観 光課をはじめ市関係機関の皆様に心より御礼申し上げます。

> 2019(平成31)年3月吉日 特定非営利活動法人仙台バリアフリーツアーセンター 理事長 伊藤 清市

調査概要

1.日時:平成30年12月5日および6日 午前10時~午後3時

2.調査個所:仙台城跡、るーぷる仙台バス停(下図丸囲み)

②⑭⑮⑯バス停は市街地のため対象外

3.調査方法:仙台城跡・・・敷地内調査(本丸会館、護国神社除く)

バス停・・・・バス停からバス停名観光施設までの導線

4.日程・担当グループ:下表参照

5. 備考: 仙台城跡まで車いす使用者は地下鉄東西線と市営バスを乗

り継ぎ仙台城跡南バス停下車。車いすで城跡へ。

	12/5		12/6	
	A M	PM	АМ	PM
伊藤グループ		3 13	4	
及川グループ	11) 12		5 10	6
大原グループ	1 7 8 9			



仙台城跡① 仙台城跡南バス停









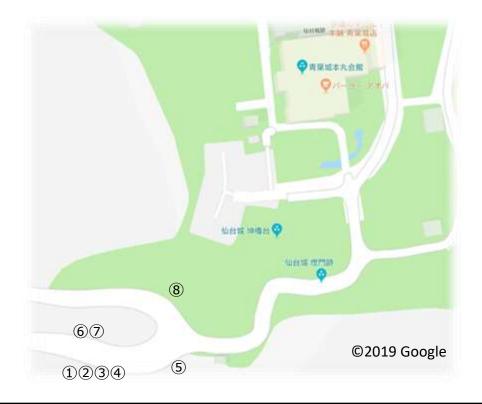




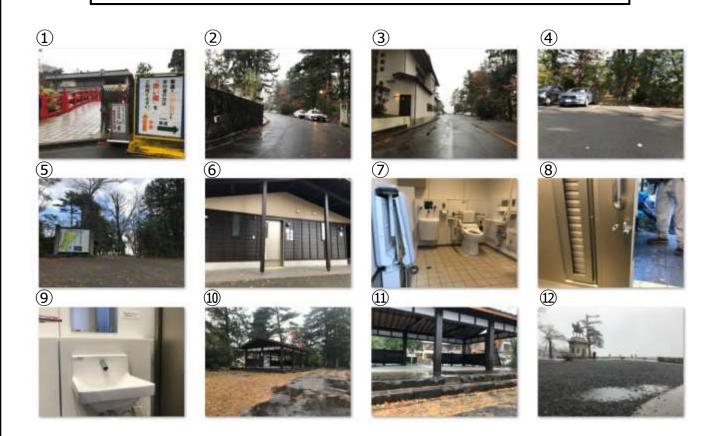




- ①市街方面東向き
- ②市街方面西向き
- ③スロープ傾斜
- ④電動車いす降車
- ⑤仙台城跡入口段差無し ⑥八木山方面東向き
- ⑦八木山方面西向き
- ⑧バス停全体
- ・バス停から仙台城跡までは歩道がなくカーブも多いため注意を要する。



仙台城跡② 駐車場~伊達政宗公騎馬像前



- ①赤い橋手前に段差あり
- ②③車道を迂回駐車場へ
- ④駐車場には身体障害者 用スペースは無し
- ⑤大型バス駐車場からトイレへ
- ⑥⑦バス駐車場側トイレ
- 89鍵がかけにくい、手 洗い器の鏡が高い
- ⑩⑪東屋にスロープが欲しい
- 迎騎馬像まではスムーズ



仙台城跡③ 仙台城見聞館

























- ①敷地内の案内板の高さは75cm ほどで見やすい
- ②③見聞館入口の傾斜はゆるやか
- ④展示物の覗き穴の高さが150cm で車いすからは見難い。
- ⑤電動車いすでの見学可能
- ⑥男性用トイレのスロープはゆる やか
- ⑦トイレ内観
- 89見聞館裏手 スロープが無いので混雑時車いすでの退館が困難。 点字ブロック上にマットが敷設されている
- ⑩⑪⑫女性用トイレ 入口の傾斜 が男性用に比べて狭く急



①仙台駅前

(1)





2





(3)





(4)



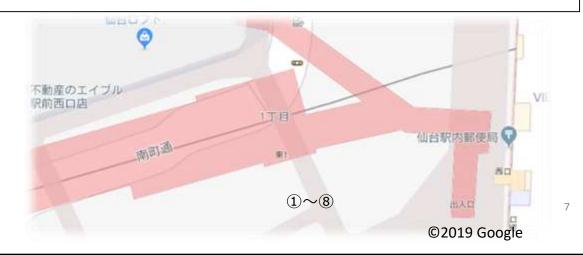


$(1)\sim(5)$

- ・大規模改編及びエレベーター設置工事の影響で階段昇降リフトを利用(工期は2019年度中まで)。
- ・ペデストリアンデッキからバス停までの移動案内が分からなかった。
- ・昇降機の一階部分での下車時には高さがありスロープを設置するが 角度が急なので若干危険を感じる。スロープは H10cm L40cm、昇 降機の耐荷重が180キロ。

6~8

- ・乗車時にバス停ではなく違う場所から事前に乗車となった。乗務員 に確認した所、時間に余裕があったためにこの方法をとったというこ とであった。
- ・仙台駅での乗車時・途中のバス停で乗車した際に、利用者本人に行き先等を聞かないで介助者に最初から話しかけることがあった。



③晚翠草堂前















- ①仙台駅方面
- ②西公園方面
- ③④横断歩道を通行。
- ⑤⑥晚翠草堂入口
- ⑦バス停にるーぷる停車
- ・全体的に問題なし



④瑞鳳殿前



(5)















1~4

・バス停はプラットフォームがあり、スロープ角が緩やか。かさ上げ プラットフォーム。

$(5)\sim(8)$

- ・表参道は階段まで勾配が急で、手動車いすの場合は数人の助力が必要か。
- ・参道に点字ブロックなし
- ・参道途中の瑞鳳寺は入り口に段差はなく、境内を散策できる。



⑤博物館・国際センター前



- ①~④かさ上げ歩道に下車。バス通りには点字ブロック無し。
- ⑤博物館へ向かう経路には点字ブロックあり
- ⑥⑦国際センターへの横断歩道、入口周辺の歩行はスムーズ



⑥仙台城跡











- ①②詰ノ門跡前は階段のみ。
- ③④かさ上げ無しの乗降。
- ⑤仙台城跡構内からバス停を望む



⑦青葉山植物園西

















- ①②かさ上げあり歩道に降車。
- ③植物園ゲートの看板。ゲートは車いすでは通過不可。遊歩道は段差 があり、車いすでの園内の移動はできない。

(4)(5)

- ・バス停からの歩道については点字ブロックあるが、歩道から券売所 (デイリーヤマザキ)、青葉山ゲートへは点字ブロックなし
- ・道路を横断する際に2.5cmの段差あり(両側)

(6)(7)

- ・デイリーヤマザキから青葉山ゲートへは下り坂有(自走不可)
- ・バス停付近に(こもれびカフェ)があり、車いすでの利用が可能



⑧青葉山駅













①~(5)

- ・バス停より約20m手前に横付けし降車となった。
- ・青葉山駅までは上り坂であるが問題なく移動できた。
- ・地下鉄駅に連結するので多くの利用が見込まれるために乗降位置に 屋根があるとより使いやすいものになると思う
- ・青葉山駅バス停は縁石・歩道がなく、調査時はバスもニーリングしなかったために、降車時のスロープ角がかなり急になった。
- ・ワンステップバス、縁石・歩道なし、ニーリングなしがそろうとバリアになりかねないのではないか。

6

・地下鉄東西線青葉山駅エレベーター前



⑨理学部自然史標本館前

(1)













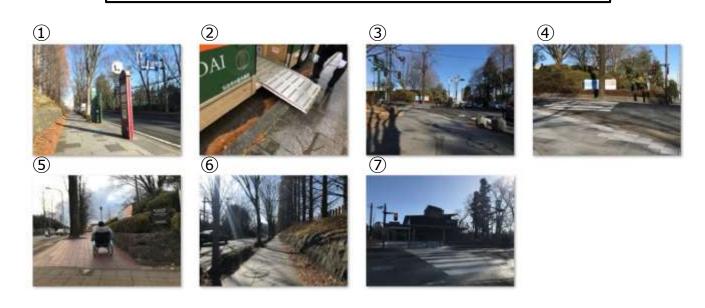


$(1)\sim(4)$

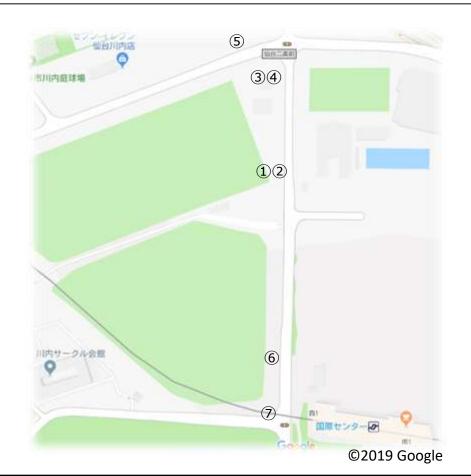
- ・バス停からの歩道に点字ブロックあり。
- ・歩道から自然史標本館へは点字ブロックなし。
- ・上り坂であるが問題なく移動できた。
- ・自然史標本館は段差がなく、エレベーター、多目的トイレを備えて いるので車いすでの入館が可能である。



⑩国際センター・宮城県美術館前



- 12かさ上げ歩道にスロープ敷設。
- ③④美術館への歩道は上り坂。
- ⑤横断歩道を渡るとさらに上り坂で美術館入口へ
- ⑥⑦バス停を南進すると地下鉄東西線国際センター駅。



⑪交通公園・三居沢水力発電所前

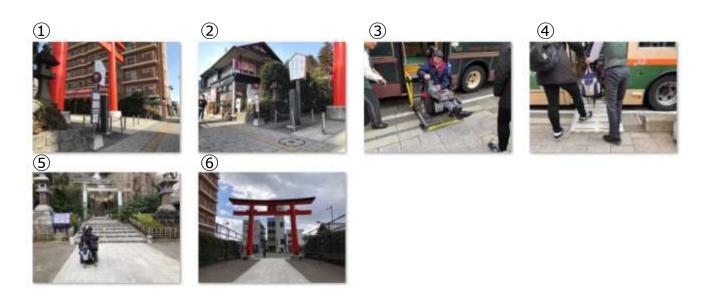


- ①~③かさ上げ歩道にスロープ敷設。
- ④~⑩バス停から水力発電所、交通公園まで約300m。
- ⑦~⑩交通公園入口まで上り傾斜あり。
- ⑨⑩三居澤大聖不動堂までは舗装されているが交通公園入口は砂利道。



16

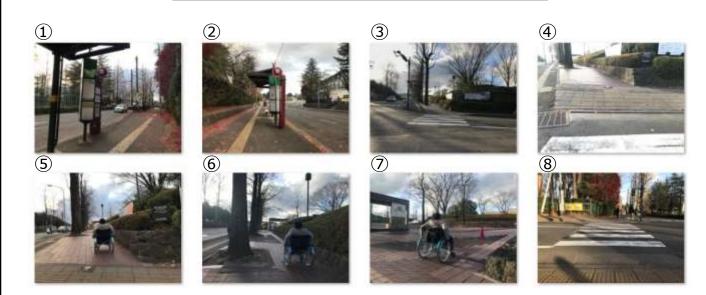
迎大崎八幡宮前



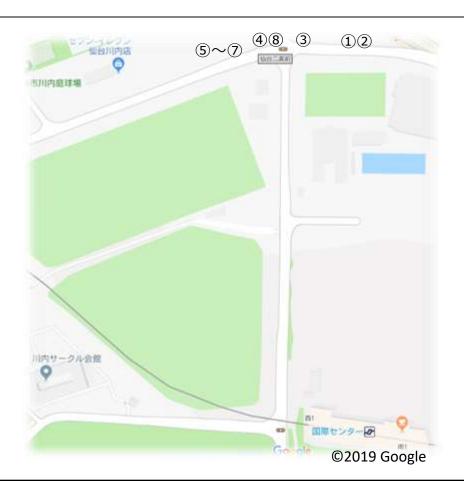
- ①~④かさ上げ歩道にスロープ敷設。
- ⑤境内前に階段。神殿までは別ルートから車でアクセス可能。



⑬二高・宮城県美術館前



- ①②かさ上げ歩道バス停。
- ③④美術館への横断歩道は上り坂。
- ⑤⑥⑦横断歩道通行後も上り坂が続く。
- ⑧美術館側からバス停を方面を望む。



調査総括

①仙台城跡…今回の調査の第一の目的である、車いすの方が低廉な料金で伊達政宗公騎馬像を観光するということについては、る一ぷる仙台の本丸会館前までの乗り入れを期待します。現状としましては、地下鉄東西線青葉山駅もしくは八木山動物公園駅から市営バスに乗車し仙台城跡南バス停にて下車、徒歩で仙台城跡を訪れるというコースを観光課からご教示いただきましたので、当センターとして観光客に周知していきます。

仙台城跡敷地内については東屋のバリアフリー化、仙台城見聞館裏手の女性用 トイレのアクセスに改善を要します。

今回は本丸会館、護国神社は調査対象外でしたが、敷地内における政宗公騎馬 像へのアクセスは良好でした。

②る一ぷる仙台…仙台城跡のバス停で下車できないのは残念でしたが、バス停名が付けられた観光施設へのアクセスは瑞鳳殿、大崎八幡宮を除いて可能でした。 この2箇所については自動車で施設至近までアクセスできますが、今回は公共交 通機関でのアクセス調査ということでルートは割愛しております。

今回の調査で印象強かったのは車両やバス停のハード面以上に、乗務員の接遇等のソフト面でした。例えば乗車した観光客へのおもてなしを感じた乗務員がいらっしゃる一方で、挨拶も乏しい乗務員もいました。車いすの乗降サポートについても、スロープの敷設や車いす席でのベルト設置等の手順を覚えていなかったり、乗客への声がけなしに介助をしようとするなど要研修の乗務員もいました。

総括しますと、上記の通りハード面以上にソフト面の改善が求められます。

当センターは高齢や障害のあるお客様を主な対象にしておりますが、障害があるからということではなく、一市民、観光客としての対応が求められます。

今後も仙台市の顔として市民、観光客に親しまれるような公共交通機関である ことをご期待申し上げるとともに、高齢や障害のある方の合理的配慮に一層のご 協力をお願いしたく存じます。

参考資料 2018(平成30)年12月15日 河北新報朝刊



仙台城跡・るーぷる仙台バリアフリー調査報告書

2019(平成31)年3月作成(掲載内容は左期日現在の情報です)

作成:特定非営利活動法人仙台バリアフリーツアーセンター

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-1-8

第一日本オフィスビル5F 株式会社旅日記内

TEL 022-726-7503 FAX 022-726-7289

Email:mail@sendaibftc.info URL:http://sendaibftc.info/

調査協力:障害者の移動と社会参加を広げる会

地図データ:P3るーぷる仙台公式サイト http://loople-sendai.jp/about/

P4~P18グーグルマップ ©2019 Google